

第3回 かわまちラボグループワークまとめ

かわとまちの公共空間活用

活動④（7月）及び活動⑤（11月）の目的

検証の狙い（1）

河川空間のオープン化※に向けた
占用エリア（候補）の活動検証

※オープン化により、占用許可を受けた事業者の営業活動が可能

検証の視点

事業性

Point

- ①：集客に寄与する導入機能
- ②：利用快適性（空間）
- ③：地域との関わり

検証の狙い（2）

ラボメンバー協働による新たな魅力づくり
（パッケージプログラム案）の検証

検証の視点

かわとまちの一体利用
（一部事業性を含む）

Point

- ①：協働による新たな活用プログラム
- ②：水上と河川敷内建物の一体利用
- ③：かわとまちの一体利用

かわまちラボ活動④では、コンテンツの試行を通じて

検証の狙い（1）のPoint②・③、検証の狙い（2）のPoint①・②の検証を実施

第3回 かわまちラボグループワークまとめ

かわとまちの公共空間活用

パッケージプログラム案の検証 ※実施内容については今後調整

活動④ (7月) 案

2部制プログラムを試行実施

(検証イメージ：午後の部)

13:00～ 河川敷の活用

- ・水上アクティビティの運営検証
 - ※アモアの活用（更衣室等）含む
- ・あらかわ号を活用した荒川の歴史ガイド

15:00～ アモア3Fを活用した意見交換

- ・ラボメンバーによる滞在空間の検証
- ・運営スキームの意見交換

(検証イメージ：夜の部)

18:00～ 夜間の河川敷の活用検証①

- ・焚き火、飲食等の運用検証

19:07～ 夜間の河川敷の活用検証②

- ・動画配信による魅力発信
- ・水辺で乾杯（国交省プログラム）
- ・赤水門ライトアップ

活動⑤ (11月) 案

RIVER SIDE FESTIVAL（指定管理者自主事業）との連携
一般（モニター）参加プログラムを試行実施

(検証イメージ)

- 13:00～ シェアサイクルの体験・歴史散歩、赤羽のまち案内、駐車場の平日利用に関するアンケート
- 15:00～ アモア3Fカフェ運用・テラスくつろぎ体験検証（ベンチ等を配置）